



さくらんぼ組だより 2月号

2020.2.

尚徳福祉会 坂戸保育園

寒くなってきたと思ったら、春のような日が続き驚いてしまいますね。子どもたちの体調を心配しているのですが、寒いとか暖かいとか気にすることなく、毎日元気にお外に出かけています。午後テラスに出ると、日が陰ってきて『まだ遊ぶ〜』『お部屋入らない』とみんなで逃げ回ることもあります。

お友だちと遊ぶのがとっても楽しみの仲良しさくらんぼ組です。



クラスの様子

外から帰ってくると『おててまっくろ〜』と言いながら、手を洗いに行ってくれます。袖をギュウ〜として濡れないようにまくり、石鹸を付けます。ゴシゴシ、アワアワしてから、水で流します。みんな自分で出来るようになって、お手伝いすることはほんの少しになりました。着替えも靴を履くのもジャンパーを畳んでみるのも、何でも自分でやろうとしています。教えなくても畳んだり、かごに入れるのをしっかり見ているのですね。時にはお友だちの忘れ物を片付けてくれることもあります。

自分でできることが増えて、自信に満ちている子どもたちの顔がお兄さんお姉さんになってきました。



製作👉ことり・鬼

2月は大きくなったね会に向け、階段の壁面装飾を乳児クラスの合作で飾り付けをしました。さくらんぼ組は、お空に飛んでいる小鳥を作りました。紙にクレヨンでグルグル描きをして上から絵の具を塗りました。クレヨンのグルグル描きは、『グルグル〜』と言いながら、力強く描けるようになりました。絵の具は今回筆を使ってみました。お皿の絵の具に筆をちょんちょんとつけて紙の上に、塗るより筆につける動作のほうが面白くて、ビショビショになってしまいました。小鳥に出来上がるとピッピできた、と喜んでいました。是非、送迎のときにお子さんにご覧ください。

節分の鬼のお面も作りました。ツノをつけてカラフルな髪の毛つけました。「鬼のパンツ」の歌を歌って節分の雰囲気を楽しみました。こわーい鬼の登場はなかったのですが、

やっつけるぞ、と張り切って
豆の代わりに丸めた紙を投げて
いました。



大きくなったね会に向けて

2月15日は大きくなったね会があります。一人一人大きくなり、元気いっぱい、笑顔いっぱいのさくらんぼ組の子どもたち。

クラス別の部では、保護者の方と一緒に製作をしたりいつも楽しんでいる、ダンスを披露したいと思っています。先日のミニ集会では、いちご組とりんご組のお友だちの前でとっても上手にできました。

お子様と一緒に楽しい時間を、過ごし成長を感じられたらと思います。

